



～音楽が紡ぐ“縁”～

# HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

広島交響楽団第392回定期演奏会 THE 392ND SUBSCRIPTION CONCERT



指揮  
秋山 和慶  
Conductor  
Kazuyoshi Akiyama



ヴァイオリン  
アラベラ・美歩・  
シュタインバッハー\*  
Violin  
Arabella Miho  
Steinbacher\*

©Sammy Hart

## 2019. 7. 12 (金)

18:45開演 [17:45開場]

Fri Jul 12, 2019 Start 18:45 [Open 17:45]

広島文化学園HBGホール

広島市中区加古町3-3

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

フォーレ: 管弦楽組曲「ペレアスとメリザンド」

Fauré : Pelléas et Mélisande, Suite Op.80

サン＝サーンス: 序奏とロンド・カプリチオーソ\*

Saint-Saëns : Introduction et Rondo Capriccioso Op.28\*

ラヴェル: ツィガーンヌ\*

Ravel : Tzigane\*

フローラン・シュミット: バレエ音楽「サロメの悲劇」

Florent Schmitt : La Tragédie de Salomé, Op.50

Concertmaster : 佐久間 聡一 Soichi Sakuma

チケット(税込/全席指定)

S席5,200円・A席4,700円・B席4,200円(学生券1,500円)

\*学生席は小学生以上、25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみで取り扱い)

チケット発売日

一般プレイガイド 2019年5月12日(日)/広響事務局 2019年5月13日(月)

プレイガイド

エディオン広島本店・福屋八丁堀本店プレイガイド・福屋広島駅前店チケットサロン

アルパーク天満屋チケットサロン・広島アーツ楽器・ヤマハミュージック広島店管弦打楽器売場

ローソンチケット(Lコード:62499)・チケットぴあ(Pコード:142-484)・中国新聞社読者広報部

中国新聞販売所(取り寄せ)・広響事務局

主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助成/  文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興会

公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団

プレミアム協賛/  広島電鉄

後援/広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、  
広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、月刊ウェンディ出版局

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

広響公式ホームページ▶  
HP : <http://hirokyo.or.jp>



  
beyond  
2020

お問い合わせ ▶ 広響事務局 TEL : 082-532-3080

## 受け継がれるエスプリ

フォーレにまつわるフランス作曲家の織りなす“縁”を一夜のコンサートで表現しました。広響終身名誉指揮者、秋山和慶が魅せるフローラン・シュミットの「サロメの悲劇」を軸に、美しくも悲劇性をたたえた両オーケストラ曲と、オリエンタルな陰影と華やかさ溢れるヴァイオリン曲により、四人の作曲家の個性が絶妙なバランスで組み合わせられた選曲を楽しむことができます。しかも世界の第一線で活躍するアラベラ・美歩・シュタインバッハーを迎え、巨匠ギトリスから音楽的影響と指導を受け、最も得意とする小品集からの代表的な2曲が生で聴ける滅多とない機会に、今から胸が高鳴ります。



指揮／秋山 和慶

Conductor / Kazuyoshi Akiyama

故斎藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年2月に東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。

トロント交響楽団の副指揮者、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督（現在桂冠指揮者）、シラキュース響音楽監督を歴任。フィラデルフィア管、ニューヨーク・フィル、ボストン響、クリーヴランド管、シカゴ響、ロイヤル・フィル、NDR北ドイツ放響、ケルンWDR放響、ベルリン放響、スイス・ロマン管、チューリッヒ・トーンハレ管などに客演している。

これまでにサントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪府民劇場賞、大阪芸術賞、川崎市文化賞をはじめ、東京交響楽団とともに毎日芸術賞、京都音楽賞大賞、モービル音楽賞などを受賞。2001年紫綬褒章、2011年旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出。同年中国文化賞（広島）、徳島県表彰特別功労賞を受賞、2015年渡邊暁雄音楽基金特別賞を受賞。2014年指揮者生活50年を迎え、2015年2月には回想録「ところで、きょう指揮したのは？」（共著／アルテスパブリッシング刊）を出版した。

現在、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者を務めるほか、洗足学園音楽大学芸術監督・特別教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。



ヴァイオリン／アラベラ・美歩・シュタインバッハー

Violin / Arabella Miho Steinbacher

世界のメジャー・オーケストラと共演を重ね、国際舞台で活躍する第一線のヴァイオリニストとして確固たる地位を確立している。これまでに、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ミュンヘン・フィル、NDRエルブフィル、パリ管、ウィーン響、ロンドン響、ニューヨーク・フィル、ボストン響、シカゴ響等のオーケストラと、マゼール、ドホナーニ、シャイー、プロムシュテット、エッセンバッハ、デュトワ、ヤノフスキ、ハイティンク、ネゼ＝セガン等の指揮者と共演し、ザルツブルク音楽祭やBBCプロムスにも登場している。2009年よりペントーン・クラシックスと専属契約を結び、2度のエコー・クラシック賞を受賞。最新盤の「R.シュトラウス：ヴァイオリン協奏曲、小品集」（フォスター指揮ケルンWDR響）も高く評価されている。

ミュンヘンでドイツ人の父と日本人の母に生まれ、3歳の時からヴァイオリンを始める。9歳の時、ミュンヘン音楽大学でアナ・チュマチェンコ教授の最年少の生徒となった後、巨匠イヴリー・ギトリスからも多大な音楽的影響と指導を受けた。

使用楽器は、日本音楽財団貸与のストラディヴァリウス「ブース」（1716年製）。

2019.9.13(金)

### 時空を超えて(1)

日本・ポーランド国交樹立100周年に因み、ポーランドを代表するショパンのピアノ協奏曲と、下野が選ぶ日本を代表する作曲家として、生誕90周年を迎える矢代秋雄の交響曲をお届けします。フランス人の血を引き、パリで作曲家としての花を咲かせたショパンと、パリ音楽院に学び、フランス近代音楽に傾倒した矢代秋雄という、国と人と時代、それぞれの周年が絡み合う時空を超えたプログラミングです。四半世紀に渡りショパンの協奏曲を封印してきた清水和音の演奏にも大注目です。

〈日本・ポーランド国交樹立100周年〉

ショパン(没後170年)：ピアノ協奏曲第1番ホ短調

Chopin : Piano Concerto No.1 in E minor Op.11

矢代 秋雄(生誕90年)：交響曲

Akio Yashiro : Symphony



指揮／下野 竜也

Conductor : Tatsuya Shimono

ピアノ／清水 和音

Piano : Kazune Shimizu

広島交響楽団  
第393回  
定期演奏会

広島文化学園HBGホール  
18:45開演(17:45開場)



2019年度

定期全3回公演

中期定期会員募集のご案内

S席/13,500円 A席/12,500円 B席/11,500円

お申し込みは広響事務局までお電話ください。(受付期間 2019年4月15日～9月12日)